政策シート

(政策名) 安全・安心で利用しやすい公共建築物の提供
 (予算費目名) 公共建築費

(総合計画体系)

「分野」	地方自治・都市経営
30年後の姿	協働による持続可能な都市経営を推進し、全国をリードする自立した基礎自治体になっている。
10年後の目標	<ul style="list-style-type: none"> 協働に関わる多様な主体が連携し、協働による質の高い市民サービスが提供されている。 公共インフラの整備・維持・管理に民間活力の導入が進んでいる。

◆基本政策 将来像を実現する財政運営、財産管理、財源確保の推進

◇政策の概要

公共建築物の長寿命化やユニバーサルデザイン化を進め、市民が安全・安心して利用しやすい施設整備を行うとともに、適正な建物保全を推進する。また施設用途や目的に応じた適正な整備レベルの確保を図り、市民に親しまれる公共建築物を提供する。

◇関連するSDGsのゴール

①都市								
-----	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	1,946,042	2,298,764				
決算	2,045,226					
人件費(A)	229,200	221,400				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	2,274,426	2,520,164				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
外壁・屋根の劣化調査の結果、優先的に改修すべきと判断された建物のうち改修済の建物の割合	%	目標	40	52	64	76	88	100
		実績	39					
吊り天井非構造部材落下防止工事実施割合	%	目標	62	67	75	84	85	92
		実績	60					
公共建築物のユニバーサルデザイン度の点数	点	目標	60	61	61	62	62	63
		実績	60					

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

公共建築物の長寿命化やユニバーサルデザイン化を進め、市民が安全・安心して利用しやすい施設整備を行うとともに、適正な建物保全を推進する。また施設用途や目的に応じた適正な整備レベルの確保を図り、市民に親しまれる公共建築物を提供する。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
○公共建築物長寿命化推進事業 外壁劣化等調査66施設、大規模劣化調査48施設(アセットマネジメント推進課実施) 空調熱源設備改修3施設、給水ポンプ設備改修2施設、受変電設備改修10施設、外壁改修25施設、 屋根改修33施設、大規模改修1施設を実施。	
○公共建築物耐震化推進事業 吊り天井等非構造部材落下防止対策工事3施設、設計5施設を実施。	
○公共建築物のユニバーサルデザイン推進事業 協働センター7施設について、身障者専用駐車場屋根、多目的トイレ、エレベーター設置等の 大規模整備を実施。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	公共建築物長寿命化推進事業	○		○		1,879,631	1,810,131	7.7	2.0		3.0
2	公共建築物耐震化推進事業			○		440,771	433,071	1.1			
3	公共建築物ユニバーサルデザイン推進事業			○		55,688	51,208	0.6			0.1
4	公共建築運営費(一般諸経費のみ)					144,074	4,354	19.6			0.9
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						2,520,164	2,298,764	29.0	2.0		4.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 公共建築物長寿命化推進事業

◇事業目的・事業対象

建築から一定の年数が経過した公共建築物について、計画的な改修により建築物の長寿命化を進め、長期的な財政負担の軽減を図るとともに、市民に安全で安心な施設を提供するもの。

◇事業の概要

・長寿命化工事

「浜松市公共建築物長寿命化計画《一般施設》」(平成29年9月作成)に基づき公共建築物の長寿命化を図るため、計画的な改修工事を実施する。

《改修内容》

小規模改修 建築物の寿命や機能維持に大きく影響する部位の改修・更新
対象部位: 屋根、外壁、受変電設備、空調熱源設備、給水ポンプ

大規模改修 建築後40年経過する建築物を対象に劣化した機能や性能を新築時レベルまで回復させることを目的とした大規模な施設改修

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H23	-	一般会計	自治事務(その他)		○	-	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	1,382,712	1,810,131				
	決算	1,474,709					
	国・県支出	53,681					
	市債	854,100	1,233,600				
	その他	200,000	272,700				
	一般財源	366,928	303,831				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		66,800	69,500				
人工	正規	7.2	7.7				
	再任用(h31)	3.0	2.0				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.0	3.0				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.7
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

公共建築物の長寿命化を進める事業は、女性、子ども、高齢者及び障害者を含めた市民への安全で安心な施設の提供につながる。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
外壁及び屋根改修工事(施設)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	55	56	35	24	24	24	24
実績値	48	58					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
空調設備改修工事(施設)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	4	3	1	4	4	4	4
実績値	4	3					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
設備(受変電設備・給水ポンプ)改修工事(施設)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	4	13	8	22	22	22	22
実績値	4	12					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
大規模改修工事(施設)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	10(設計)	1	6	9	9	9	9
実績値	9(設計)	1					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

・公共建築物の長寿命化の推進[決算1,474,709千円(うち前年度繰越273,847千円)]

小規模改修事業及び大規模改修事業を計画的に実施した。

○小規模改修工事

- ・外壁 25施設
- ・屋根 33施設
- ・受変電設備 10施設
- ・空調熱源設備 3施設
- ・給水ポンプ設備 2施設

○大規模改修工事 1施設

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・浜松市公共建築物長寿命化指針及び同計画(一般施設)に基づき、小規模改修及び大規模改修事業のための設計、工事を行い、建築物の長寿命化が図られた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・劣化調査の結果に基づき、事業の優先順位付けを見直した。
- ・優先順位に基づき、建築物の長寿命化のための設計、工事を行った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・長寿命化指針及び同計画(一般施設)に基づき、引き続き事業の推進を図る。

事業シート (事業名) 公共建築物耐震化推進事業

◇事業目的・事業対象

大規模空間を持つ公共建築物の吊り天井などの非構造部材について、落下防止対策を行うことにより、施設利用者の安全確保を図る。
公共施設の耐震化を行うことにより、施設利用者の安全確保を図る。

◇事業の概要

・大規模空間に吊り天井を有する市有31施設について、災害時に地域の避難所となる施設を優先的に落下防止対策工事を実施する。
・大規模改修工事を実施する施設について、一層の耐震性向上を図るため耐震補強工事を実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H27	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	330,735	433,071				
	決算	340,514					
	国・県支出	44,633	51,500				
	市債		381,400				
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	295,881	171				
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		8,400	7,700				
人工	正規	1.2	1.1				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.7
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

公共建築物の耐震化を進める事業は、女性、子ども、高齢者及び障害者を含めた市民への安全で安心な施設の提供につながる。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
吊り天井等非構造部材落下防止対策工事(施設)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	4	4	4	4	5	1	4
実績値	3	3					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
一般施設の耐震化(施設)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	-	1	3	-	2	-	-
実績値	-	1					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

公共建築物の耐震化の推進[決算340,514千円(うち前年度繰越27,629千円)]

- ・災害時に地域の避難所となる1施設を含む3施設について、吊り天井落下防止対策工事を行った。また、5施設について、設計を行った。
- ・大規模改修工事に合せ、1施設の耐震補強工事を行った。また、大規模改修工事の実施設計に合せ、1施設の耐震補強計画策定及び耐震補強実施設計を行った。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・吊り天井落下防止対策工事のうち、避難所1施設について、入札不調のため工事対象範囲の一部を令和2年度に実施することとした。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・ 吊り天井落下防止対策工事について県補助金を活用し、避難所の対策を優先して事業を実施した。
- ・ 大規模改修工事の実施に合わせ、一層の耐震性向上を図るため耐震補強工事を実施することとした。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・ 施設運営との調整を行い、避難所を優先して吊り天井等非構造部材落下防止対策を実施する。また避難所以外の施設についても、各施設の修繕計画などを踏まえ順次対策を進めていく。
- ・ 大規模改修工事の実施と合わせ、効果的な施設の耐震化を進めていく。

事業シート (事業名) 公共建築物ユニバーサルデザイン推進事業

◇事業目的・事業対象

だれもが利用しやすくなる公共建築物を提供するため、ユニバーサルデザイン等に配慮した設計及び工事監理業務を実施し、公共建築物の適正な整備水準を確保する。

◇事業の概要

○公共建築物のユニバーサルデザイン化の推進

《対象施設》

- ・公共建築物長寿命化推進事業で実施する大規模改修工事施設。
- ・不特定多数の市民が利用する施設

《整備内容》

- ・身障者専用駐車場屋根、廊下・階段手摺、多目的トイレ、エレベーターの整備等

○公共建築物のユニバーサルデザインに関する啓発活動

○新增築・改築工事等に係るユニバーサルデザインの導入

- ・施設が計画的に実施する大型工事において、ユニバーサルデザインを積極的に導入する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H20	R6	一般会計	自治事務(その他)		-	-	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	228,015	51,208				
	決算	226,181					
	国・県支出						
	市債	202,900	45,800				
	その他						
	一般財源	23,281	5,408				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		6,580	4,480				
人工	正規	0.9	0.6				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.1	0.1				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.7
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

公共建築物のユニバーサルデザイン化を進める事業は、女性、子ども、高齢者及び障害者を含めた市民への安全で安心な施設の提供につながる。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
ユニバーサルデザイン化整備工事(施設数)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	7	7	6	9	9	9	9
実績値	9	7					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
公共建築物のユニバーサルデザイン度(点)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	60	60	61	61	62	62	63
実績値	59	60					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- 公共建築物のユニバーサルデザイン化の推進[決算226,181千円]
 - 《対象施設》
 - ・協働センター33施設
 - 《整備内容》
 - ・身障者専用駐車場屋根、廊下・階段手摺、多目的トイレ、エレベーターの整備等
- 公共建築物のユニバーサルデザインに関する啓発活動
- 新増築・改築・大規模改造工事等に係るユニバーサルデザインの導入
 - ・施設が計画的に実施する大型工事において、ユニバーサルデザインを積極的に導入する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・エレベータ設備を含む、規模の大きな整備を実施する施設数は計画の4施設に対して4施設の実施であった。屋根付駐車場等の小規模整備を実施する施設数は計画3に対して、3施設を実施した。計画通りである。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・計画通り、7施設の整備を実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・令和元年度で協働センター33施設のユニバーサルデザイン化整備が完了。
- ・今後は長寿命化計画による大規模改修の施工と併せて、ユニバーサルデザイン化を推進していく。

事業シート (事業名) 公共建築運営費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					—		

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	4,580	4,354				
	決算	3,822					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	3,822	4,354				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		147,420	139,720				
人工	正規	20.7	19.6				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.9	0.9				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.7
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

公共建築物の計画・設計・施工段階での適正な品質確保は、女性、子ども、高齢者及び障害者を含めた市民への安全で安心な施設の提供につながる。